

2012年7月2日

## 住宅メーカー初<sup>※1</sup>！電気自動車からエネルギーを供給する住まいを実現 効率的なエネルギー利用を提案 新「Smart Solabo(スマート ソラボ)」発売

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区大手町）は、自然の恵みを活かした省エネルギーな木の家をベースに、ライフスタイルに合ったエネルギー利用の提案を行えるように、太陽光発電システムや家庭用蓄電池システム、V2H（ビークルトゥ ホーム）システム<sup>※2</sup>などの多彩な環境配慮機器をラインナップした、新「Smart Solabo」を7月6日より発売しますので、お知らせいたします。

※1：住宅メーカーの戸建住宅商品として、日産リーフの大容量バッテリーからの電力供給システムを初めて搭載しました。（7月1日現在当社調べ）

※2：電気自動車の大容量バッテリーから電力を取り出し、分電盤を通じて家庭の電力として使用できる仕組み。

当社は、再生可能な資源である木を活かした住まいづくりを通じて、日々の暮らしの中で効率的なエネルギー消費と、最適なマネジメントを行うことにより、住宅のライフサイクル全体を通してCO<sub>2</sub>排出量をマイナスにするライフサイクルカーボンマイナス（LCCM）住宅の開発を目指しています。

2007年に、当社初の太陽光発電システムを搭載した商品である「MyForest-Solabo(マイフォレスト-ソラボ)」を発売し、その後家庭用燃料電池「エネファーム」やHEMS（ホームエネルギー・マネジメントシステム）をはじめとした環境配慮機器を積極採用し、本年2月には住宅用としては最大級となる12kWhの容量を持つ家庭用蓄電池システムを搭載した「Smart Solabo」を発売するなど、常に先進の環境配慮機器を搭載した住まいを提案してきました。



このたび発売する新「Smart Solabo」は、戸建て住宅業界でいち早く採用するV2Hシステムや、太陽光発電システムとの連携を可能にした容量4.8kWhの家庭用蓄電池システムを環境配慮機器のラインナップに加え、多彩な機器の中から家族のライフスタイルや要望に合った組み合わせを提案することで、より効率的なエネルギー利用を提供する住まいへと進化させています。

今後、当社では環境配慮機器を搭載した住まいを総称して「Smart Solabo」と呼び、顧客へ積極的に提案していくことで、環境配慮機器搭載率60%を目指します。

東日本大震災以降のエネルギーに対する不安や全国で求められる節電、そして地球温暖化防止といった環境配慮への高まりに対し、生活の基盤である住まいに求められる役割はますます大きくなっています。また、本年7月から開始の再生可能エネルギーの固定価格買取制度をはじめ、太陽光発電システムや家庭用蓄電池システム、HEMSなどへの補助金の充実などといった政策による後押しもあり、スマートハウスへの需要はますます高まりを見せると予想されます。

当社では、これらのニーズに応えるべく、よりエネルギーを効率的に活かすことで環境と家計に優しく、自然災害への備えとしても機能する住宅商品の充実をはかってまいります。

### ■商品概要

商品名	Smart Solabo(スマート ソラボ)
発売日	2012年7月6日

販売エリア 全国（沖縄、および一部地域を除く）

構造 マルチバランス構法、ビッグフレーム構法、ツーバイフォー構法

搭載可能システム

- (1)太陽光発電システム
- (2)家庭用燃料電池「エネファーム」
- (3)家庭用蓄電池システム：蓄電池容量12kWhと4.8kWhの2タイプ
- (4)HEMS（ホームエネルギー・マネジメントシステム）
- (5)V2Hシステム

## ■商品特徴

### (1)環境に優しい自然素材の木でつくる

再生可能な資源である木を活かした「住友林業の家」は、国産材の積極活用を進め、材料の調達から建設までの段階におけるCO<sub>2</sub>の排出量を鉄骨造やコンクリート造の住宅に比べ大きく低減しています。

### (2)自然の恵みを活かしエネルギー消費を抑える

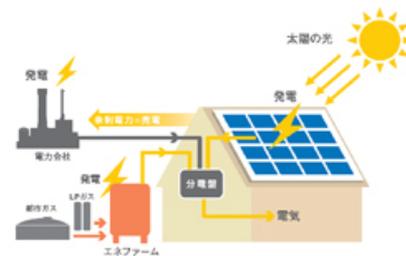
「次世代省エネルギー基準」を上回る高い断熱・気密性能を持ち、太陽や風、緑といった自然のエネルギーを住まいに活かす「涼温房（りょうおんぼう）」の設計手法により、冷暖房設備に過度に頼ることなく、夏涼しく、冬温かい住まいを実現します。



夏は日差しを遮り、風をとり入れる

### (3)エネルギーを創る

太陽の光で電気をつくる太陽光発電システムや、ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて電気をつくる家庭用燃料電池「エネファーム」を採用しています。さらにこれらの両方を搭載した「W（ダブル）発電」なら、発電量やCO<sub>2</sub>排出削減量が大幅に増大。また、エネファームを併用することで、天候に左右されやすい太陽光発電システムを補い、安定した発電量が期待できます。



W発電の概念図

### (4)エネルギーを蓄える

「Smart Solabo」では新機種を追加し、2種類の家庭用蓄電池システムを採用しています。電気自動車「日産リーフ」にも使用されている高性能のリチウムイオン電池を用い住宅用としては最大級となる12kWhという大容量のもの（フォーアールエナジー株式会社製）と、4.8kWhの容量（シャープ株式会社製）の2種類により、電気を蓄え、必要な時に使う生活を可能にしました。



家庭用蓄電池システム

12kWh（左）・4.8kWh（右）

平均的な家庭1日分の電力使用量は8kWh～10kWhといわれており、12kWhタイプでは連続使用した場合で24時間程度、使用する電力を抑えた場合は2日間程度使用することができます。新規設定された4.8kWhタイプは、短時間の電力使用や計画停電などに対して効果を発揮し、太陽光発電と連携して余剰電力を蓄えて使用することができるので、よりエネルギー自給を高める暮らしが可能となります。

夏の冷房・冬の暖房等によって電力需要が増える日中の時間帯に、貯めておいた深夜電力を使用することで、電気料金の節約ができ、また、電力需要のピークを低く抑える「ピークカット」に寄与する等、環境負荷の低減を実現します。

<非常用電源として活用可能>

停電時においては、蓄えた電力を非常用電源として活用できます。太陽光発電システムからの電力を充電することで、より長く活用でき、長引く停電にも対応可能です。

#### (5)電気自動車から家庭へ電気を供給する

今後さらに普及が見込まれる電気自動車を、家庭用の蓄電池として使うことを可能にしたV2Hシステム（ニチコン株式会社製）を戸建住宅商品として初めて搭載しました。自動車に乗らないときは、生活用の電力や予備電源として電力を家庭へ供給できます。

また、大容量の電気自動車の蓄電池を停電時の非常用電源として使用することもできます。

※日産リーフのみの対応となります。



V2Hシステム

#### (6)エネルギーを賢く使う

系統電力による家庭内の電力使用量をはじめ、太陽光発電システム、蓄電池などの電力使用状況もリアルタイムにチェックすることが可能です。この消費電力の「見える化」により、エネルギー消費量が15%削減される<sup>※</sup>とされています。電力消費のムダを見つけやすく、効率的な節電に繋げ、環境配慮への意識も高まります。

※経済産業省平成21年度スマートハウス実証プロジェクト報告書実験結果による。



「HEMS」画面イメージ

以上

《お問い合わせ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 飯塚・池田

TEL：03-3214-2270

《お客様からの商品に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社

住宅事業本部 営業推進部

TEL：0120-21-7555